



TASSEL & CARTONNAGE
EXCLAMATION MARK OF HAPPINESS

じゅうにつきのタッセル

Vol.1



幸せの感嘆符

小さなタッセルには、機能美ではない必然的な自然美を感じる魅力があります。

古代から装飾の文化を束ねてきたタッセルと、近代の実用性を文化で彩ってきたカルトナージュを組み合わせることで、独自の美意識を持った、小さなタッセルの有用性をみつけることができます。これが、タッセル&カルトナージュで創作するタッセルの考え方です。

タッセルには、幸福な出来事を象徴し、ものごとの素晴らしさに感心を集め、それらの意味を褒め讃える“感嘆”があります。

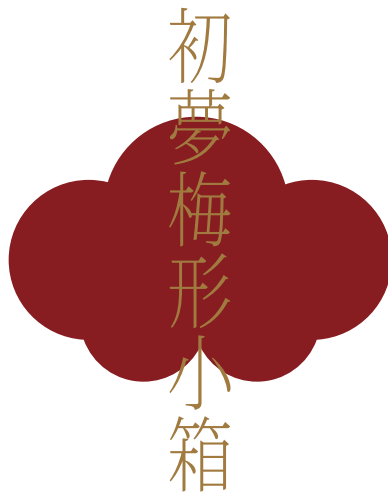
タッセルが、生活の調和をはかり、過剰な欲や災いを治める“符”という深い意味をたたえた造形だからこそ「幸せの感嘆符」なのです。

2011 年 7 月 Tassel N

じゅうにつきのタッセル

1

睦 月



江戸時代の後期頃より、四季を感じとるよう庶民文化の中で用いられてきた梅花を典型に、帯芯を使って小箱に仕立てたジャパンスタイルのカルトナーージュです。帯芯の色彩で糸取りした房飾りで、小箱の重ねと結びのために縁起のよい吉祥結びで設えています。外装には、梅花を立体的なフォルムにする独自のレイヤートリムで仕立て。内装は、梅色の絹を使い、美しくひかえめな上品さを演出しました。

花形には象徴的なメッセージ性があり、形取りと化粧というよりは、絵巻きの意匠を持つカルトナーージュに仕上がりました。

TASSEL&CARTONNAGE

January 2011



じゅうにつきのタッセル

2

如 月

MIMOSA

色
ふ

イタリアでは、『ミモザの日』と呼ばれる、黄色のボンボンをつけたミモザ（マメ科アカシア属とミモザ属）の花を贈る習慣があるそうです。ミモザは春になると、黄色で丸い花が集まって咲く、春の到来を予感させる花の一つです。愛と幸福を呼ぶとされることからミモザの花を愛する人へ贈るのです。

そんなミモザをモチーフにしたタッセルは、オーロラ・コードとパールの際飾りをアクセントに、100%ウールを使ったボンボンスカートをミモザの花に象りました。三色を「色ふ」という“面”の発想で束ねたタッセルです。

TASSEL & CARTONNAGE

February 2010





じゅうにつきのタッセル

3

弥 生

V25° Sonia

初めてイタリアへ旅行した時に、滞在先のローマで大変親切にいただいた、イタリア人のおばあさまのお名前から名付けた、Sonia（ソニア）「架橋」。

タッセルは「結び」でもあり、「架け橋」のように色で繋がっていくタッセルをイメージしたのです。

タッセルはシンプルな括り房（Binding head tassel）ですが、シルク刺しゅう糸を使って、ふっくらストレートな仕上がりになっています。また、カルトナーージュにも使いやすい、小さなスケールにしています。3カラーのマーブル配色をレイヤードさせて、20色の円環カラーバリエーションにしています。

TASSEL & CARTONNAGE

March 2011



じゅうにつきのタッセル

4

卯 月

Tassel Campana



刺しゅう糸5番を使った、小さくてもボリュームのあるソフト型のタッセルは、ベルのようなフォルムに束ねた「タッセルの鐘」です。

貼り箱の結び紐に使うため、シングルコードの両端に房を付けた、タイバックコードになっています。

形は、スネイル・ハットのヘッドと、ネックから広がるスカートトップをフレイドさせた、ポンポン型のトリミングが特徴です。特にスカートスレッドが、型くずれしにくい束ね方をしています。

カルトナージュに垂らすと、めちゃくちゃ相性のよい大きさとフォルムです。

TASSEL&CARTONNAGE

April 2011



じゅうにつきのタッセル

5

阜 月



TASSEL CRADLE

カルトナージュを装飾するタッセルではなく、カルトナージュとタッセルが共に共存しあうようなスタイルも一つの魅力になります。

タッセル・クレイドルは、“タッセルのゆりかご”がコンセプト。小さなタッセルがカルトナージュのゆりかごで、赤ちゃんのようにすやすや眠るよう誕生と育みをイメージしたものです。タッセルとカルトナージュのスケール感は、カルトナージュが、全長2インチのオーバルタイプで、タッセルは1.5インチのミニタッセル。それはそれは、小さな小さなタッセル&カルトナージュです。

TASSEL&CARTONNAGE

May 2010



じゅうにつきのタッセル

6

水無月



Victoria Tutted Tassel

2インチの小さなタッセルに、ラフとタフを飾り付けたタッセルです。Tuft：タフとは、クッションや枕飾りに用いるタッセルの呼び方で、タフテッド・タッセルは、房で飾りつけたタッセルという意味で、伝統的なタッセルのスタイルに見られる手法です。

本来はセパレート型なのですが、ワンピースで骨格を作り、スカートを束ねる際に、カバー部分をフレイドさせて小さなタッセルにした後、タフでスカートを飾り付ける三重の束ね方をしています。ヘッドは、ネットイングの手法を用いてクロスブレイドを作り、さらにネットカバーにビーズを組み合わせています。

TASSEL & CARTONNAGE

June 2010



じゅうにつきのタッセル

7

文 月



オルゴールのキータッセルとして創作したタッセルです。ビスコース・レーヨン刺しゅう糸を素材にした素朴な留め房（Suspend head tassel）ですが、ヘッドにフォームを使って、ヘッドとスカートの房糸バランスを変えています。スカートをそのままフレイドさせ、小さなフリンジでネックを留め上げています。

花の都イタリア・フィレンツェにちなんだ、白のフルール・ド・リス（ゆり）をイメージしたものです。

TASSEL & CARTONNAGE

July 2009

じゅうにつきのタッセル

8

葉 月

Girasole

夏のモチーフ「向日葵」をテーマに創作した、オーガニックスタイルのツイン・コットンタッセルです。ヘッドトップのシニョン“おだんご”と、向日葵の種をイメージしたストライプをアクセントに、ワンピースでスカートへと流れる、混色刺しゅう糸のストランド仕上げです。

TASSEL & CARTONNAGE

August 2009

じゅうにつきのタッセル

9

阜 月

Tasseau Ruban



タッセルの語源 "Tasseau" から名付けた「リボン鉤」という意味のタッセルです。リボンで束ねたタッセルではなく、「薄いリボンスカート」のタッセルです。

小さなタッセルは、意外と嵩張ってコロコロ動いてしまうのですが、ヘッドを平らなりボンのように薄く収まるよう独自の束ね方をしています。

素材はビスコース・レーヨン刺しゅう糸ですが、レーヨンの艶を少し消した、リネン風のファンデーションに加工しています。

TASSEL & CARTONNAGE

September 2010



じゅうにつきのタッセル

10

神無月

Tassel Balletto

ルネサンス期のイタリアで誕生した“バレエ”がコンセプト。バレエのスカートをイメージしたオリジナルのバレエ・カット・スカートには、ウェーブをかけて、ふんわり丸く広がるシルエットに束ねています。

リボンを使ったストラップコードと、ネックにビーズを飾り、アクセサリースタイルに仕上げたものです。

糸色の輝きや透明感から、自分自身に対する意味のインスピレーションを高められたらと・・・

TASSEL & CARTONNAGE

October 2009



じゅうにつきのタッセル

11

霜 月

B ウッドビーズに、撚り合わせたスレッドをスネイル
させて作るオーナメント・タッセル。クリスマスツリー
に飾りつけるカラーボールに模したタッセルです。

A
L 糸を使って玉を包むカルトナージュ? のようでもあ
りますが、巻き珠というバスマントリー手法です。糸
を撚り合わせてコードを作り、くるくる巻いていくの
です。糸色をコーディネートすれば、カルトナージュ
との相性もいいはずです。

L
E シンプルなボールですが、フィニアルキャップや
ビーズをアクセントにしたり、ロゼットやブレードと
組み合わせれば、使い方のレパートリーも広がってい
くでしょう。



TASSEL & CARTONNAGE

November 2010



じゅうにつきのタッセル

12

師 走



毎年クリスマスが近づくと思い出す『賢者の贈り物』(O.ヘンリ作)という短編小説。貧しい若夫婦がクリスマスの夜にプレゼントをし合うのですが、互いにすれ違ってしまふ、ちょっと切ないけれど温かい物語です。この物語の主人公である若い夫婦を、作者は「彼らこそ最も賢いひとたち」と評しているのです。

「Noël 2009」は、ティアラ・トップとビーズのスペーサーがアクセントになったハンギング・コードと、ビーディングによるスパイラル・ヘッドから、そのままビーズ・ラフに仕上げています。スカートは、White and Silver の2トーンのビスコース・レーヨン刺しゅう糸です。これでもワンパートタッセルなのです・・

TASSEL & CARTONNAGE

December 2009



Forword

創作タッセルの発表を始めたのが2009年。それまで形にはなるものの、タッセルの思いまで形には至りませんでした。とにかく、私がタッセルの美しさに魅了された時の気持ちに、見合うほどのタッセルが作れるようになってからと思っていました。

形のモノマネや単なる趣味の作り事ではないものとして、タッセルの有用性を追求するための、TASSEL & CARTONNAGE というホームページを開設するとともに作品発表をスタートしました。ここまで、独自の完成で、いくつかタッセルができたことは、やはりカルトナーージュの土台があったからだと思います。それだけに、現在も主題にするタッセルのために、カルトナーージュと組み合わせて発表していく意図を明確にするようになりました。そこで、発表した作品の中から、独自の手法と発想によるタッセルを集めて『じゅうにつきのタッセル』というポートフォリオをまとめました。

タッセル作りには、“季節感”という感性プロセスがあります。創作の途中より、少なからず感じていたことですが、タッセルづくりは、季節や時節の中にあって、新たな発想を生み出すプロセスがあり、その時々、季節の折々に感じるイメージーションや、インスピレーションをキャッチすることが、創作の重要な表現手法だと考えています。

本書は創作者の視点で、タッセルをじゅうにつき（十二月）に振り分けました。実際の創作時期と発表時期には多少のズレがありますが、およそ季節や時節に創作したものです。本書をひとつの区切りとし、また新たなタッセルと出会うために創作を続けたいと思っています。

2011年7月

著者

じゅうにつきのタッセル Vol.1

2025 年 11 月 13 日 第 2 版 (PDF 版)

2011 年 7 月 21 日 第 1 版 (PDF 版)

著 者 濱本修徳

発 行 Tassel & Cartonnage

<https://www.passamano.jp>

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著者、発行者の許諾を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。

TASSEL & CARTONNAGE

Copyright © 2011-2025 Passamano All rights reserved.

Published by PASSAMANO.JP

Text, Illustration, Photography, Design, Original Japanese edited by N. Hamamoto

First edition 2011.7.21

Printed in Japan